

令和2年

鳥取県人口移動調査結果

【令和2年1月～令和2年12月】

令和3年2月1日公表

鳥取県令和新时代創造本部統計課

目 次

用語の説明	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	
I 鳥取県の人口動態	
1 概況	3
2 自然動態	
(1) 自然動態の推移	3
(2) 月別自然動態	4
3 社会動態	
(1) 社会動態の推移	4
(2) 月別社会動態	5
(3) 都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態	5
(4) ブロック別の県外転入・転出	7
(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数	7
(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態	8
II 市町村別人口動態	
1 人口増減	9
2 自然動態	
(1) 市町村別自然動態	10
(2) 月別自然動態	11
(3) 男女別自然動態	11
3 社会動態	
(1) 市町村别社会動態	12
(2) 県内移動	13
(3) 県外転入・県外転出	14
(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出	15
<参考>外国人の人口動態	19
参考資料	
1 鳥取県の人口動態の推移（S30～R2）	20
2 年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H12～R2）	21
3 年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H12～R2）	22
4 県外転出入者数の推移（令和2年移動者総数上位6都道府県）	23

用語の説明

1 動態

- (1) 人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
- (2) 自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
- (3) 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2 移動

- (1) 移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
- (2) 実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
- (3) 県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
- (4) 県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
- (5) 県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
- (6) 県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
- (7) 転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3 出生率及び死亡率

- (1) 出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
- (2) 死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4 移動者の年齢

令和2年10月1日現在の満年齢による。

5 自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6 自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7 社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8 社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9 ブロック別区分

北海道…北海道

東北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

10 地域別区分

東 部…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

中 部…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西 部…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

11 市郡別

市 部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

郡 部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利 用 上 の 注 意

- 1 鳥取県人口移動調査は、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。
- 2 人口及び世帯の移動数は、令和2年1月から令和2年12月までの年間数値であり、市町村表記は令和2年12月現在のものにて記載している。

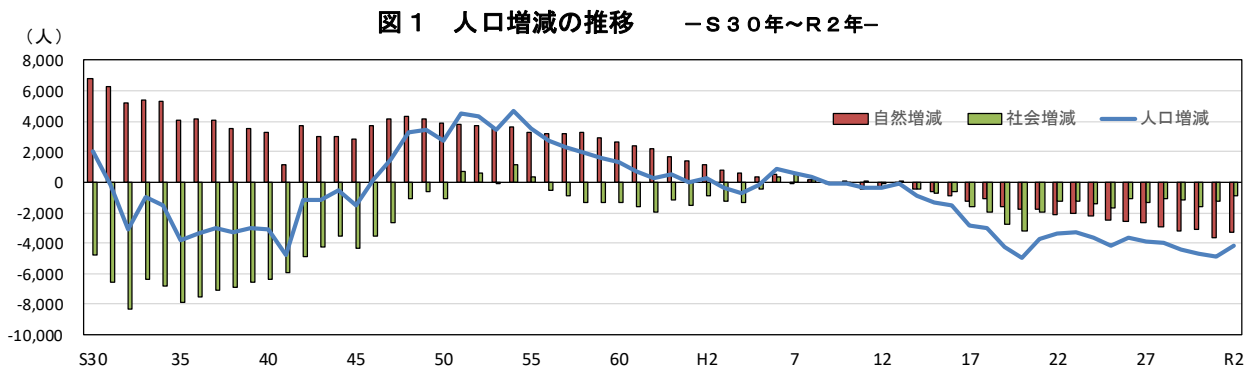
調査結果の概要

I 鳥取県の人口動態

1 概況

1年間の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少であったが、減少幅は前年に比べ642人縮小した。

令和2年（令和2年1月～令和2年12月）の1年間の人口動態をみると、自然増減は3,310人減、社会増減は894人減、合計4,204人の減少であったが、減少幅は前年と比べると、642人縮小した。（図1、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

2 自然動態

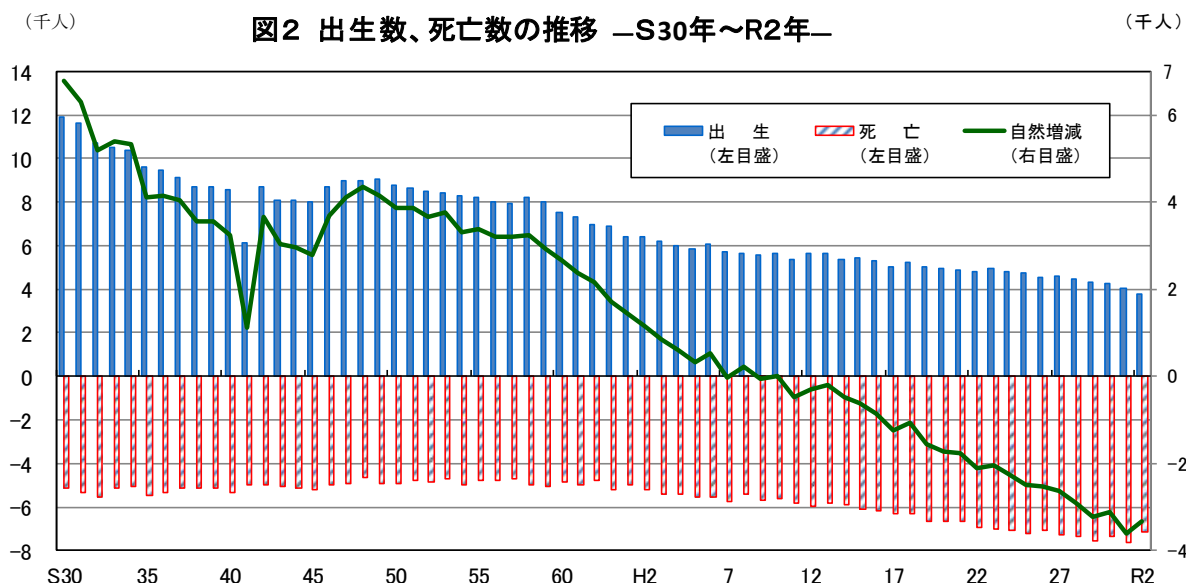
(1) 自然動態の推移

自然増減は、3,310人減少し、22年連続の減少となった。

出生数は昭和30年（11,901人）以降概ね減少傾向となり、昭和35年からは9,000人台、昭和62年からは6,000人台、平成5年からは5,000人台、平成20年からは4,000人台となり、令和2年は3,800人で前年と比べると213人減少し、昭和30年以降初めて3,000人台となった。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後を推移していたが、それ以降は増加傾向となっている。平成15年からは6,000人台、平成23年からは7,000人台となり、令和2年は7,110人で前年と比べると501人減少した。

自然増減数は3,310人の減少で前年と比べ減少数は288人縮小したが、22年連続の減少となった。（図2、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別自然動態

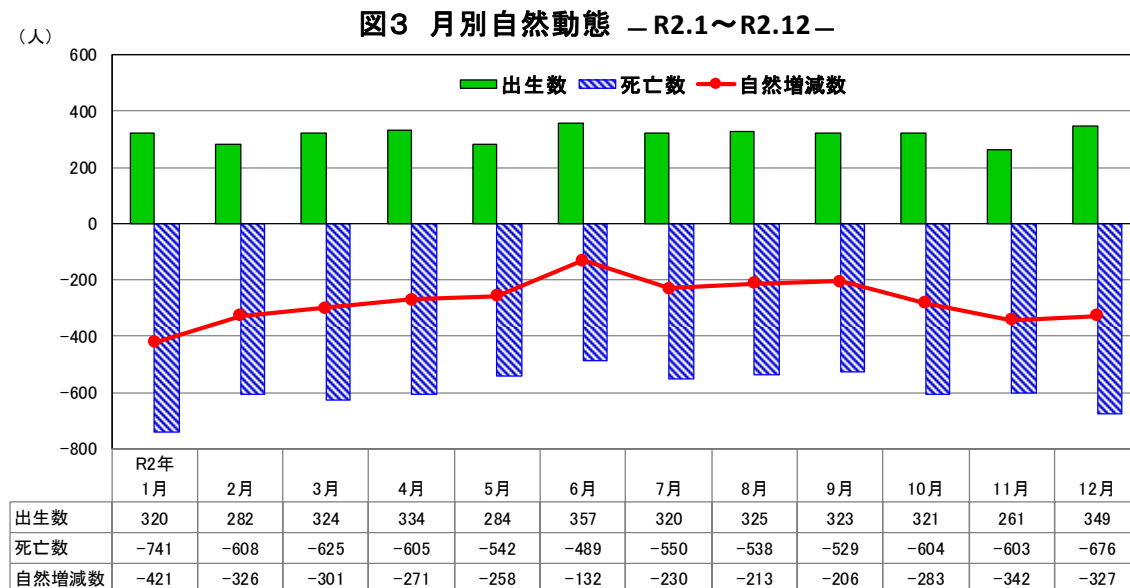
自然増減はすべての月で減少となり、1月の減少数が最も多い

月別にみると、出生数は6月が357人（出生総数に占める割合9.4%）と最も多く、次いで12月が349人（同9.2%）、4月が334人（同8.8%）であった。

死亡数は1月が741人（死亡総数に占める割合10.4%）と最も多く、次いで12月が676人（同9.5%）、3月が625人（同8.8%）であった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は1月が421人と最も多かった。

（図3、統計表第2表）



3 社会動態

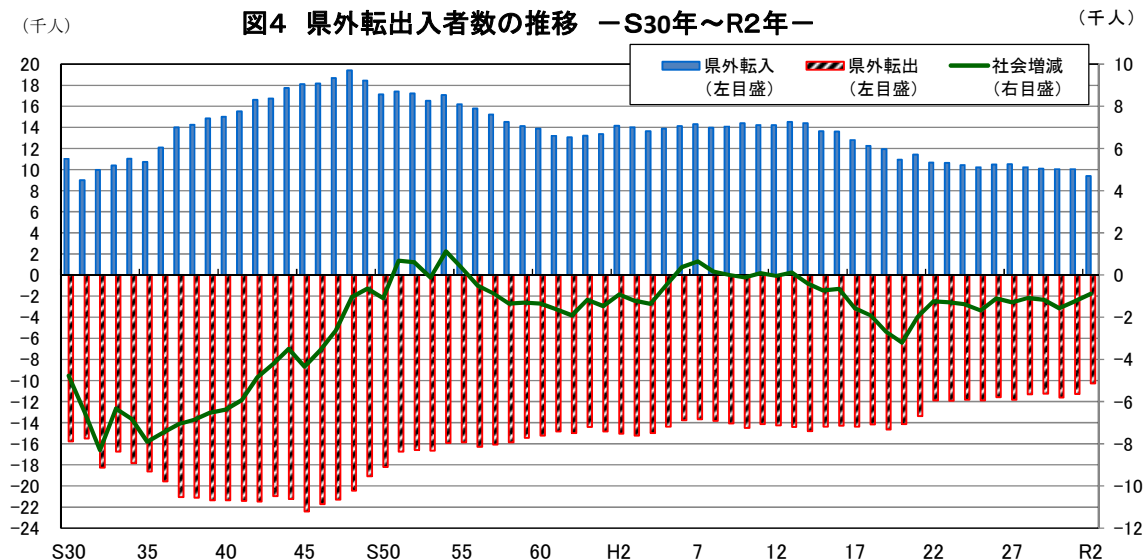
(1) 社会動態の推移

社会増減は、894人減少し、19年連続の減少となった。

令和2年（令和2年1月～令和2年12月）の県外転入者は9,375人、県外転出者は10,269人で社会増減は894人減少した。県内の市町村間を移動した者（県内移動者）は5,926人で実移動者総数は25,570人であった。

前年と比べると、県外転入者が668人減少、県外転出者が1,022人減少し、社会増減の減少数が354人縮小した。また、県内移動者が182人減少し、実移動者総数が1,872人減少した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和48年の19,395人、県外転出者は昭和45年の22,438人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成14年以降19年連続で減少した。（図4、統計表第1表、統計表第4表）



注) 各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別社会動態

3月及び4月の2か月間で、年間実移動者総数の41.7%を占める

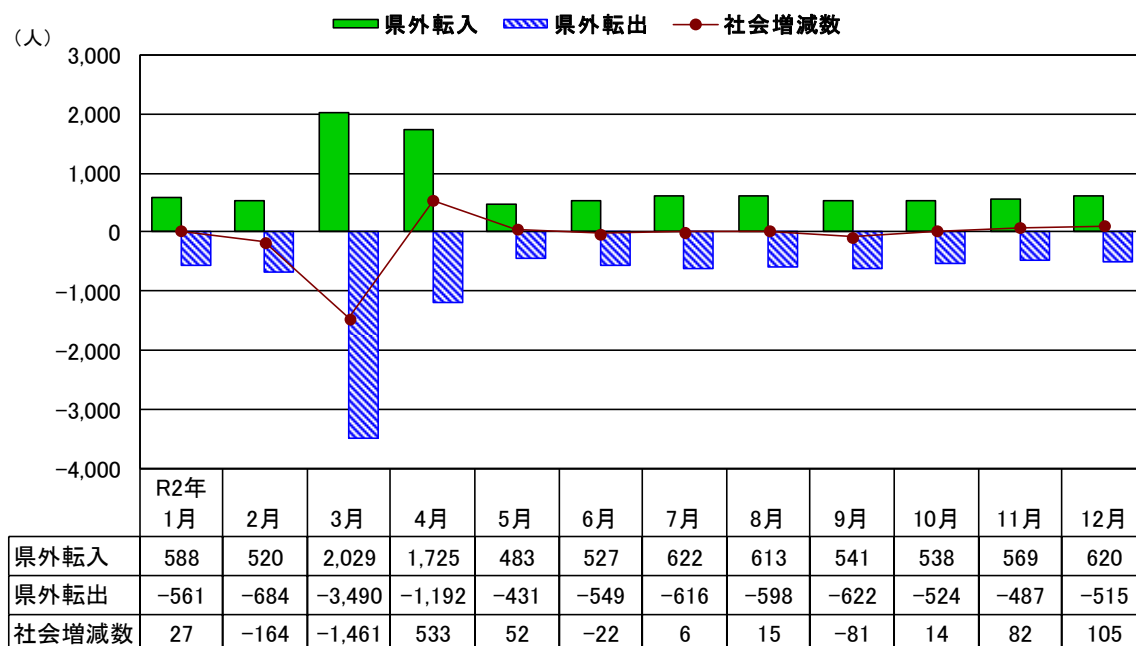
月別にみると、県外転入者は3月が2,029人（県外転入者総数に占める割合21.6%）と最も多く、次いで4月が1,725人（同18.4%）、7月が622人（同6.6%）であった。

県外転出者は3月が3,490人（県外転出者総数に占める割合34.0%）と最も多く、次いで4月が1,192人（同11.6%）、2月が684人（同6.7%）であった。

この結果、4月が533人増加し、3月は1,461人減少し、この2か月間で年間実移動者総数の41.7%を占めている。

（図5、統計表第3表）

図5 月別県外転出入者数 — R2.1月～R2.12月 —



(3) 都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態

県外転入者数は島根県が1,334人、県外転出者数は大阪府が1,190人と最も多い

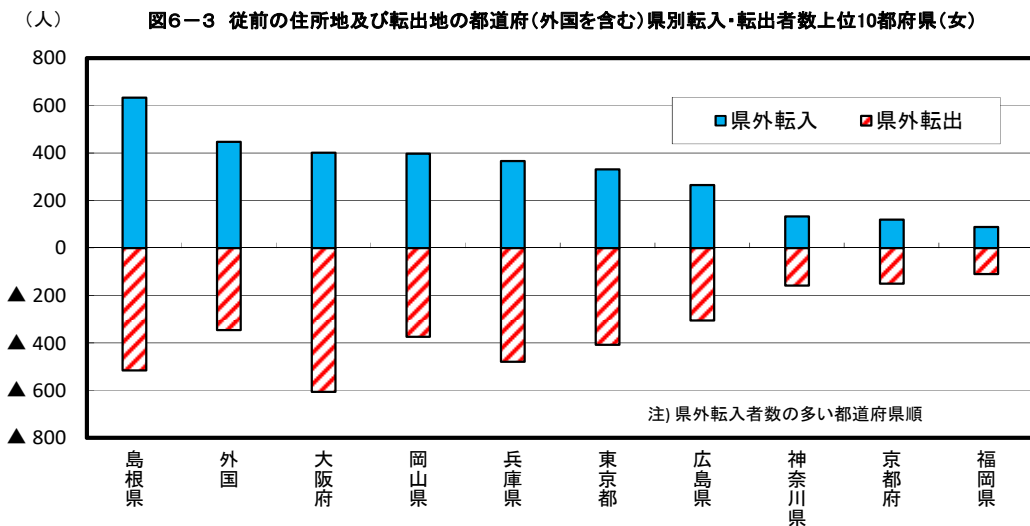
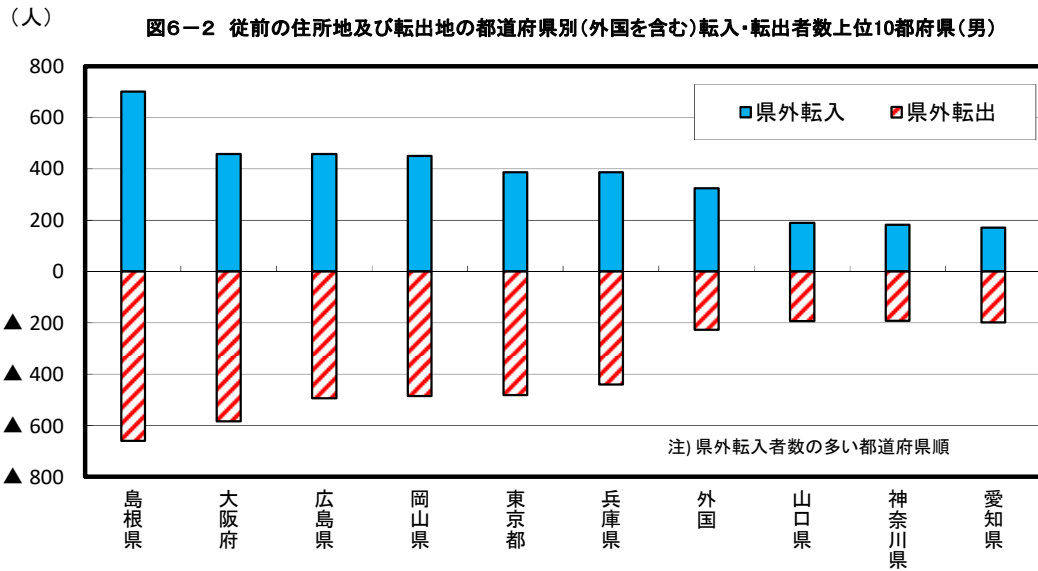
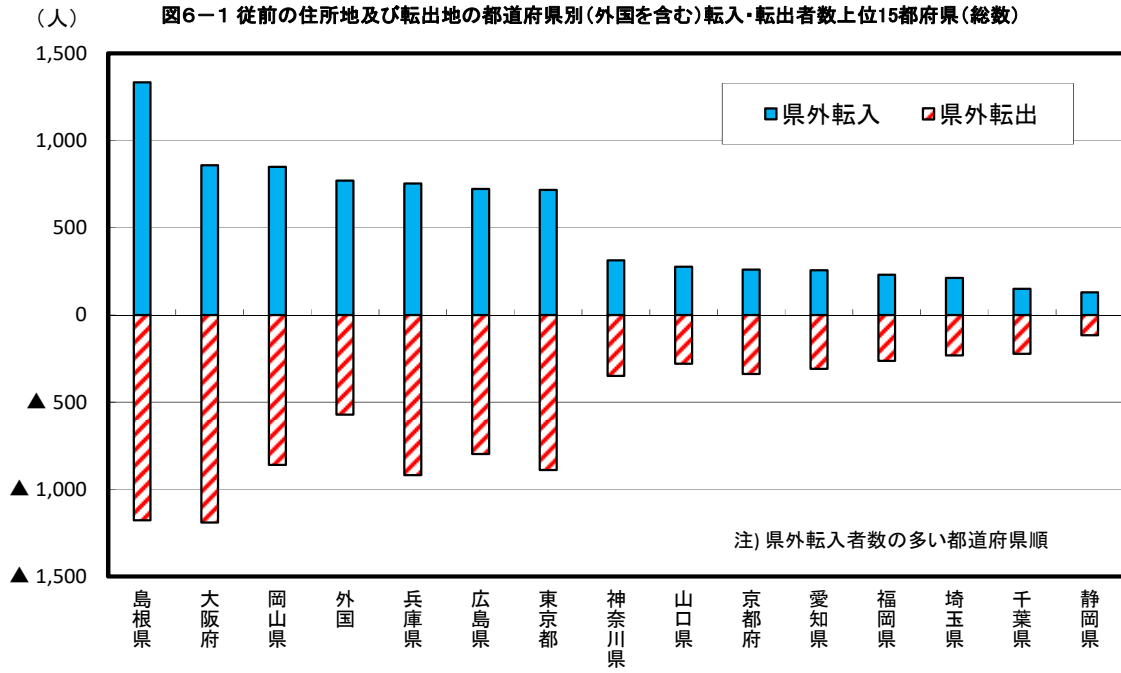
都道府県別（外国を含む）にみると、県外転入者は島根県が1,334人（男性701人、女性633人）と最も多く、次いで大阪府が859人（男性458人、女性401人）、岡山県が849人（男性451人、女性398人）であった。

県外転出者は、大阪府が1,190人（男性584人、女性606人）と最も多く、次いで島根県が1,176人（男性660人、女性516人）、兵庫県が919人（男性440人、女性479人）であった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は島根県が701人と最も多く、次いで大阪府及び広島県が458人となり、県外転出者は、島根県が660人と最も多く、次いで大阪府が584人、広島県が493人であった。

女性の県外転入者は島根県が633人と最も多く、次いで外国が447人、大阪府が401人となり、県外転出者は、大阪府が606人と最も多く、次いで島根県が516人、兵庫県が479人であった。

（図6-1、図6-2、図6-3、統計表第9表）



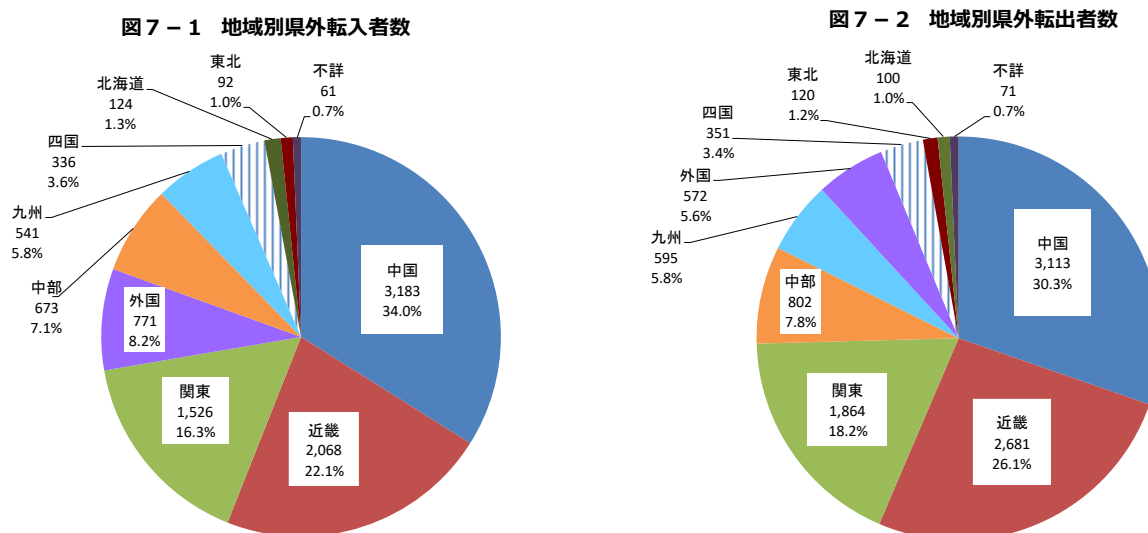
(4) ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

ブロック別にみると、県外転入者は中国ブロックが3,183人（男性1,800人、女性1,383人）で最も多く、次いで近畿ブロックが2,068人（男性1,095人、女性973人）、関東ブロック1,526人（男性884人、女性642人）であった。

県外転出者は、中国ブロックが3,113人（男性1,831人、女性1,282人）で最も多く、次いで近畿ブロックが2,681人（男性1,335人、女性1,346人）、関東ブロック1,864人（男性1,069人、女性795人）であった。

(図7-1、図7-2)



注)全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

- 北海道:北海道
- 東北:青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東:茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 中部:新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿:滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国:島根、岡山、広島、山口
- 四国:徳島、香川、愛媛、高知
- 九州:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数

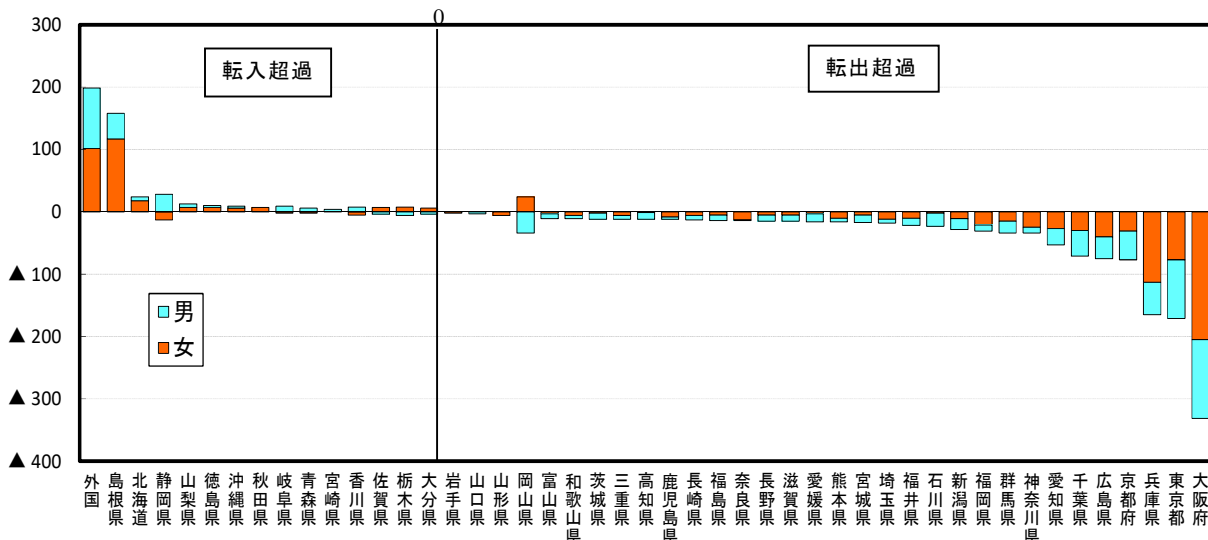
転入超過数は外国が199人、転出超過数は大阪府が331人と最も多い

転入超過数は、外国が199人（男性97人、女性102人）と最も多く、次いで島根県が158人（男性41人、女性117人）、北海道が24人（男性6人、女性18人）であった。

転出超過数は、大阪府が331人（男性126人、女性205人）と最も多く、次いで東京都が171人（男性94人、女性77人）、兵庫県が165人（男性52人、女性113人）であった。

(図8、統計表第9表)

図8 都道府県別(外国を含む)転入超過数(男女別)



(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態

0～4歳が最も増加し、20～24歳が最も減少

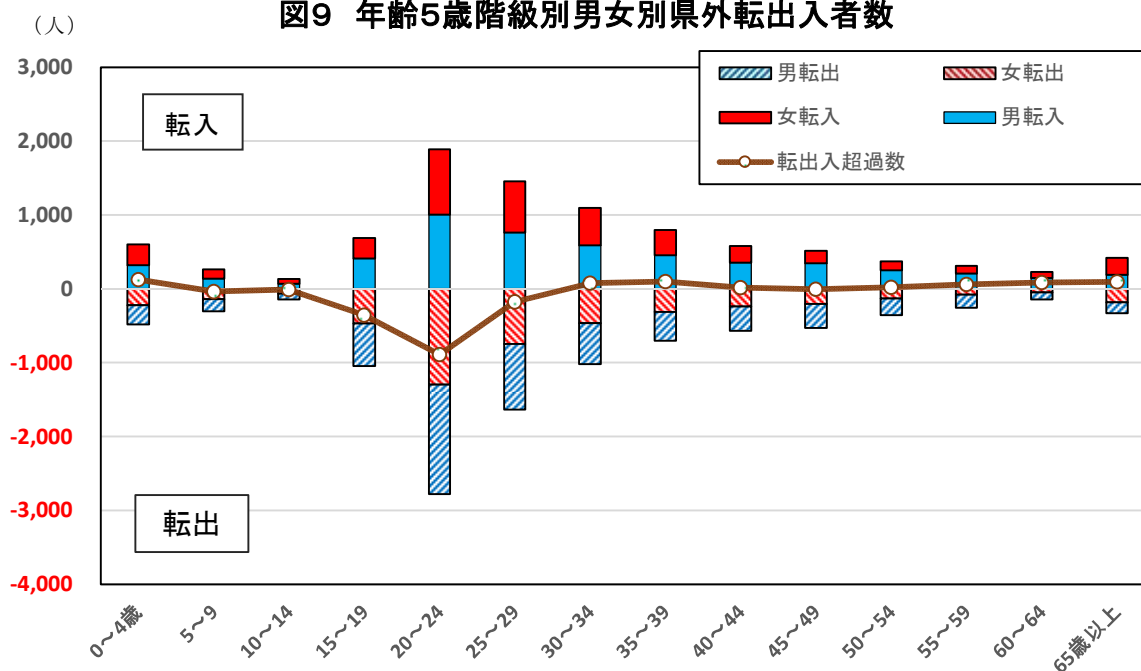
年齢5歳階級別にみると、県外転入者は男女とも20～24歳が1,888人(男性1,004人、女性884人。男性の県外転入者総数に占める割合が19.1%、女性の県外転入者総数に占める割合が21.4%)で最も多く、次いで男女とも25～29歳の1,458人(男性764人、女性694人。同14.6%、女性694人、同16.8%)であった。

県外転出者は男女とも20～24歳が2,777人(男性1,481人、女性1,296人。同28.3%)で最も多く、次いで男女とも25～29歳の1,633人(男性887人、女性746人。同15.6%、女性746人、同16.3%)であった。

県外転入転出により、0～4歳が125人(男性65人、女性60人)と最も増加、20～24歳が889人(男性477人、女性412人)と最も減少し、年間実移動者総数をみると20～34歳が全体の49.1%を占めている。

(図9、統計表第4表、統計表第10表)

図9 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数



II 市町村別人口動態

1 人口増減

すべての市町村で人口が減少

令和2年（令和2年1月～令和2年12月）の1年間の市町村別の人口増減をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは鳥取市の1,023人（自然減少765人、社会減少258人）で、次いで倉吉市が472人（自然減少339人、社会減少133人）、米子市が350人（自然減少591人、社会増加241人）、境港市が280人（自然減少244人、社会減少36人）であった。

また、増減率を見ると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは江府町の2.87%で、次いで若桜町が2.85%、智頭町が2.63%、日南町が2.59%であった。

（表1、統計表第6表、統計表第7表）

表1 市町村別人口増減

（単位：人、%）

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	3,800	7,110	-3,310	15,301	16,195	-894	-4,204	-0.76
鳥取市	1,356	2,121	-765	4,476	4,734	-258	-1,023	-0.55
米子市	1,152	1,743	-591	4,869	4,628	241	-350	-0.24
倉吉市	317	656	-339	1,281	1,414	-133	-472	-1.02
境港市	191	435	-244	1,235	1,271	-36	-280	-0.86
岩美町	64	195	-131	270	320	-50	-181	-1.69
若桜町	8	66	-58	65	88	-23	-81	-2.85
智頭町	30	122	-92	134	209	-75	-167	-2.63
八頭町	104	219	-115	385	481	-96	-211	-1.35
三朝町	23	91	-68	133	179	-46	-114	-1.91
湯梨浜町	120	203	-83	483	500	-17	-100	-0.63
琴浦町	95	251	-156	381	480	-99	-255	-1.57
北栄町	86	205	-119	334	430	-96	-215	-1.54
日吉津村	31	36	-5	166	164	2	-3	-0.09
大山町	71	284	-213	369	422	-53	-266	-1.73
南部町	49	122	-73	215	296	-81	-154	-1.50
伯耆町	69	140	-71	285	302	-17	-88	-0.84
日南町	14	108	-94	96	107	-11	-105	-2.59
日野町	9	53	-44	73	93	-20	-64	-2.27
江府町	11	60	-49	51	77	-26	-75	-2.87

2 自然動態

(1) 市町村別自然動態

自然増減はすべての市町村で減少

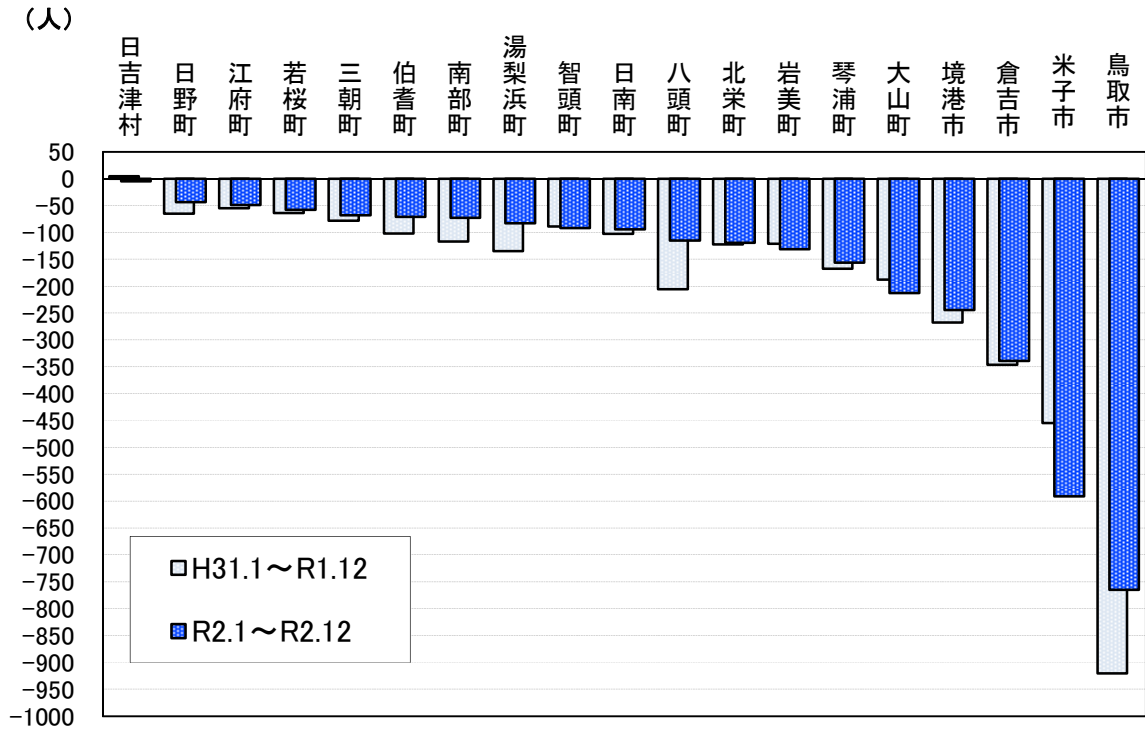
自然増減は、すべての市町村で減少した。

最も多く減少したのは鳥取市の765人（出生数1,356人、死亡数2,121人）で、次いで米子市が591人（出生数1,152人、死亡数1,743人）であった。

自然増減率（対1,000人比）をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは日南町の23.0%で、次いで若桜町が20.2%であった。

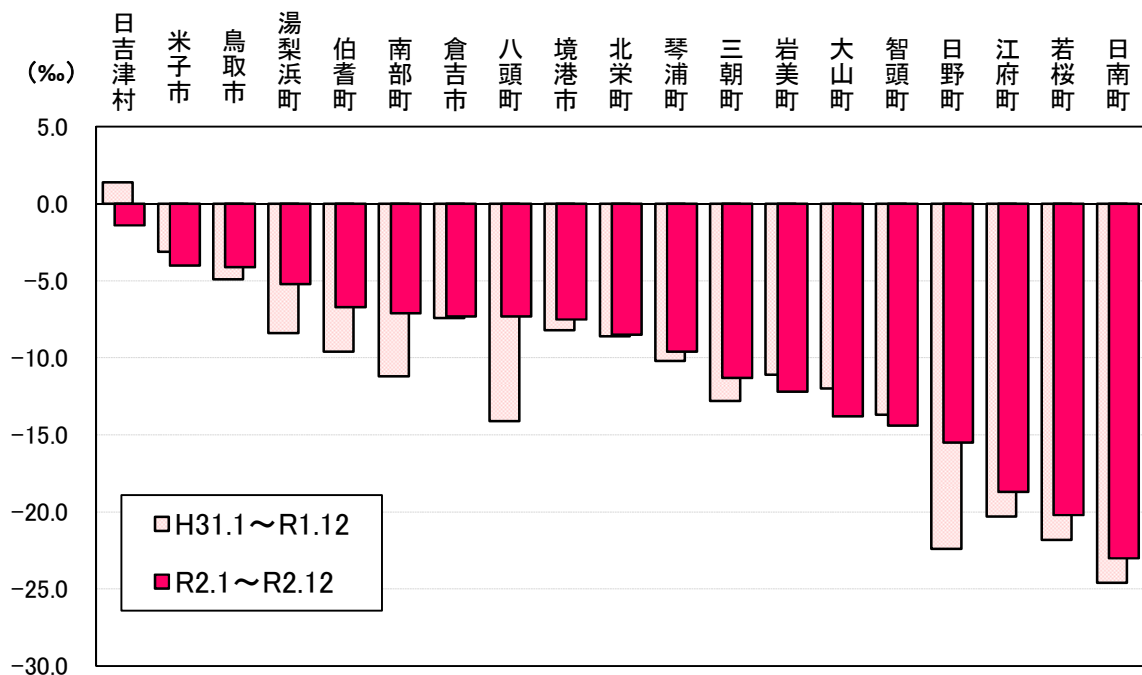
（図10-1、図10-2、統計表第6表）

図10-1 市町村別自然増減数



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

図10-2 市町村別自然増減率



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

(2) 月別自然動態

出生数は12月の鳥取市の129人、死亡数は12月の鳥取市の218人が最も多い。

月別にみると、出生数は12月の鳥取市の129人（総出生数に占める割合3.4%）が最も多く、次いで9月の鳥取市の128人（同3.4%）、10月の鳥取市の122人（同3.2%）であった。

死亡数は12月の鳥取市の218人（総死亡数に占める割合3.1%）が最も多く、次いで1月の鳥取市の205人（同2.9%）、10月の鳥取市の195人（同2.7%）であった。
(表2)

(3) 男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市が700人と最も多く、次いで米子市が568人、倉吉市が161人、境港市が93人であった。死亡数は、鳥取市が1,059人と最も多く、次いで米子市が856人、倉吉市が302人、境港市が223人であった。

女性の出生数は鳥取市が656人と最も多く、次いで米子市が584人、倉吉市が156人、境港市が98人であった。死亡数は、鳥取市が1,062人と最も多く、次いで米子市が887人、倉吉市が354人、境港市が212人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では日野町の4人、女性では若桜町の3人、死亡数は、男性では日吉津村の13人、女性では日野町の22人であった。
(表2、統計表第6表)

表2 月別男女別自然動態 —R2年1月～R2年12月—

(単位:人)

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県 計	出生数	男	1,958	164	158	179	179	132	177	160	163	170	158	134	184
		女	1,842	156	124	145	155	152	180	160	162	153	163	127	165
		小計	3,800	320	282	324	334	284	357	320	325	323	321	261	349
	死亡数	男	3,476	396	302	284	272	267	235	274	265	258	297	294	332
		女	3,634	345	306	341	333	275	254	276	273	271	307	309	344
		小計	7,110	741	608	625	605	542	489	550	538	529	604	603	676
鳥取市	出生数	男	700	56	71	56	59	50	64	47	50	69	63	41	74
		女	656	58	37	46	62	58	56	53	61	59	59	52	55
		小計	1,356	114	108	102	121	108	120	100	111	128	122	93	129
	死亡数	男	1,059	117	92	90	79	97	66	69	70	83	95	90	111
		女	1,062	88	92	87	103	89	77	71	80	75	100	93	107
		小計	2,121	205	184	177	182	186	143	140	150	158	195	183	218
米子市	出生数	男	568	48	39	58	56	37	55	56	51	46	38	41	43
		女	584	40	43	48	52	47	55	47	48	52	60	38	54
		小計	1,152	88	82	106	108	84	110	103	99	98	98	79	97
	死亡数	男	856	100	76	76	69	50	59	85	60	72	64	67	78
		女	887	85	77	90	86	63	62	76	60	63	56	82	87
		小計	1,743	185	153	166	155	113	121	161	120	135	120	149	165
倉吉市	出生数	男	161	13	10	15	13	6	16	16	12	16	14	12	18
		女	156	16	11	15	9	9	22	13	12	13	14	12	10
		小計	317	29	21	30	22	15	38	29	24	29	28	24	28
	死亡数	男	302	42	31	25	21	17	18	26	26	22	22	29	23
		女	354	40	28	38	41	20	21	20	32	22	25	31	36
		小計	656	82	59	63	62	37	39	46	58	44	47	60	59
境港市	出生数	男	93	12	9	12	10	6	6	6	6	6	7	7	6
		女	98	11	5	10	7	12	8	11	10	6	3	3	12
		小計	191	23	14	22	17	18	14	17	16	12	10	10	18
	死亡数	男	223	27	14	12	17	19	16	13	17	17	23	20	28
		女	212	24	18	21	14	20	14	23	7	18	16	19	18
		小計	435	51	32	33	31	39	30	36	24	35	39	39	46

3 社会動態

(1) 市町村別社会動態

社会増減は米子市及び日吉津村を除く市町で減少

社会増減を市町村別にみると、米子市及び日吉津村を除く市町で減少した。

増加したのは米子市が241人（男性50人、女性191人）と最も増加し、次いで日吉津村が2人（男性14人、女性-12人）であった。減少したのは鳥取市が258人（男性118人、女性140人）と最も減少し、次いで倉吉市が133人（男性73人、女性60人）であった。

社会増減率（対1,000人比）は米子市が1.6‰増加、日吉津村が0.6‰増加し、その他の市町は減少し、最も減少したのは智頭町が11.7‰で、次いで江府町が9.9‰であった。

（図11-1、図11-2、表3、統計表第7表、統計表第10表）

図11-1 市町村別社会増減数

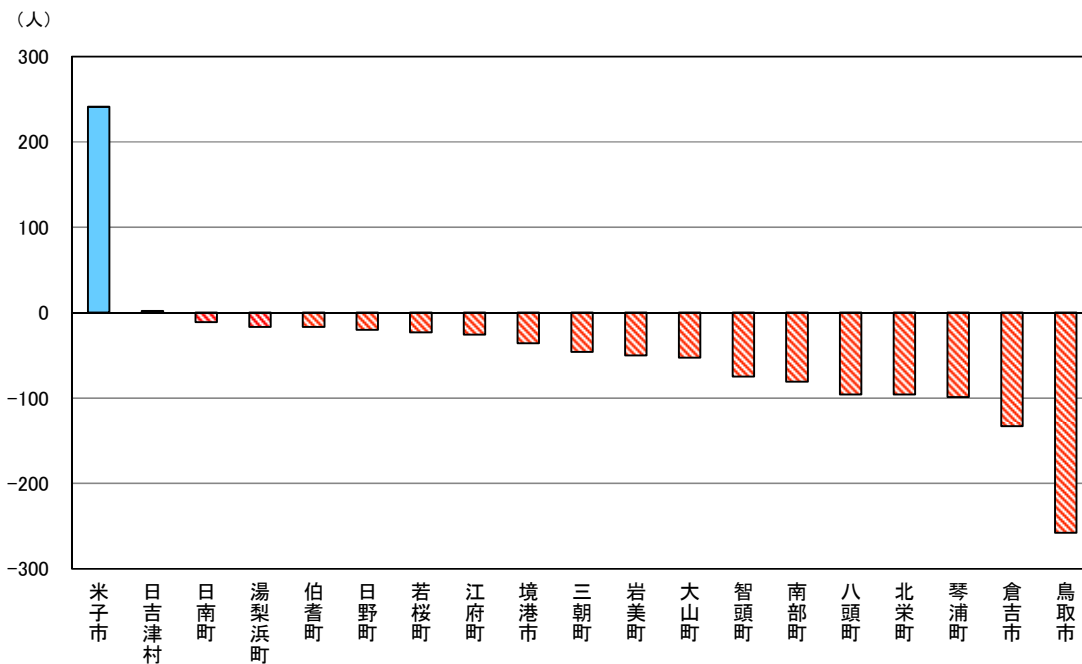


図11-2 市町村別社会増減率

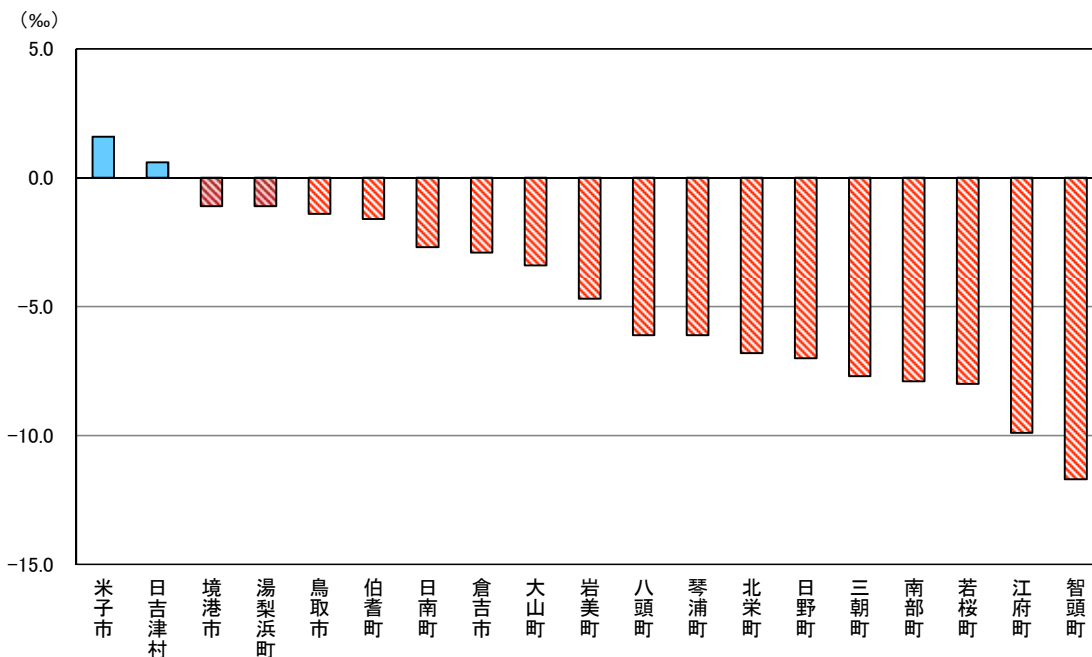


表3 市町村別社会動態

(単位：人)

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	9,375	10,269	-894	5,926	5,926	0	-894
東部地区	3,520	4,008	-488	1,810	1,824	-14	-502
中部地区	1,193	1,440	-247	1,419	1,563	-144	-391
西部地区	4,662	4,821	-159	2,697	2,539	158	-1
鳥取市	3,169	3,552	-383	1,307	1,182	125	-258
米子市	3,216	3,323	-107	1,653	1,305	348	241
倉吉市	602	708	-106	679	706	-27	-133
境港市	915	883	32	320	388	-68	-36
岩美町	117	138	-21	153	182	-29	-50
若桜町	43	37	6	22	51	-29	-23
智頭町	74	84	-10	60	125	-65	-75
八頭町	117	197	-80	268	284	-16	-96
三朝町	63	79	-16	70	100	-30	-46
湯梨浜町	166	256	-90	317	244	73	-17
琴浦町	240	238	2	141	242	-101	-99
北栄町	122	159	-37	212	271	-59	-96
日吉津村	56	55	1	110	109	1	2
大山町	161	178	-17	208	244	-36	-53
南部町	107	134	-27	108	162	-54	-81
伯耆町	107	120	-13	178	182	-4	-17
日南町	55	54	1	41	53	-12	-11
日野町	27	39	-12	46	54	-8	-20
江府町	18	35	-17	33	42	-9	-26

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(-)の場合は、転出超過を示す。

注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

(2) 県内移動

県内移動で最も多いのは鳥取市から米子市への430人

県内移動をみると、鳥取市から米子市への430人(男性235人、女性195人)が最も多く、次いで米子市から鳥取市への350人(男性197人、女性153人)であった。

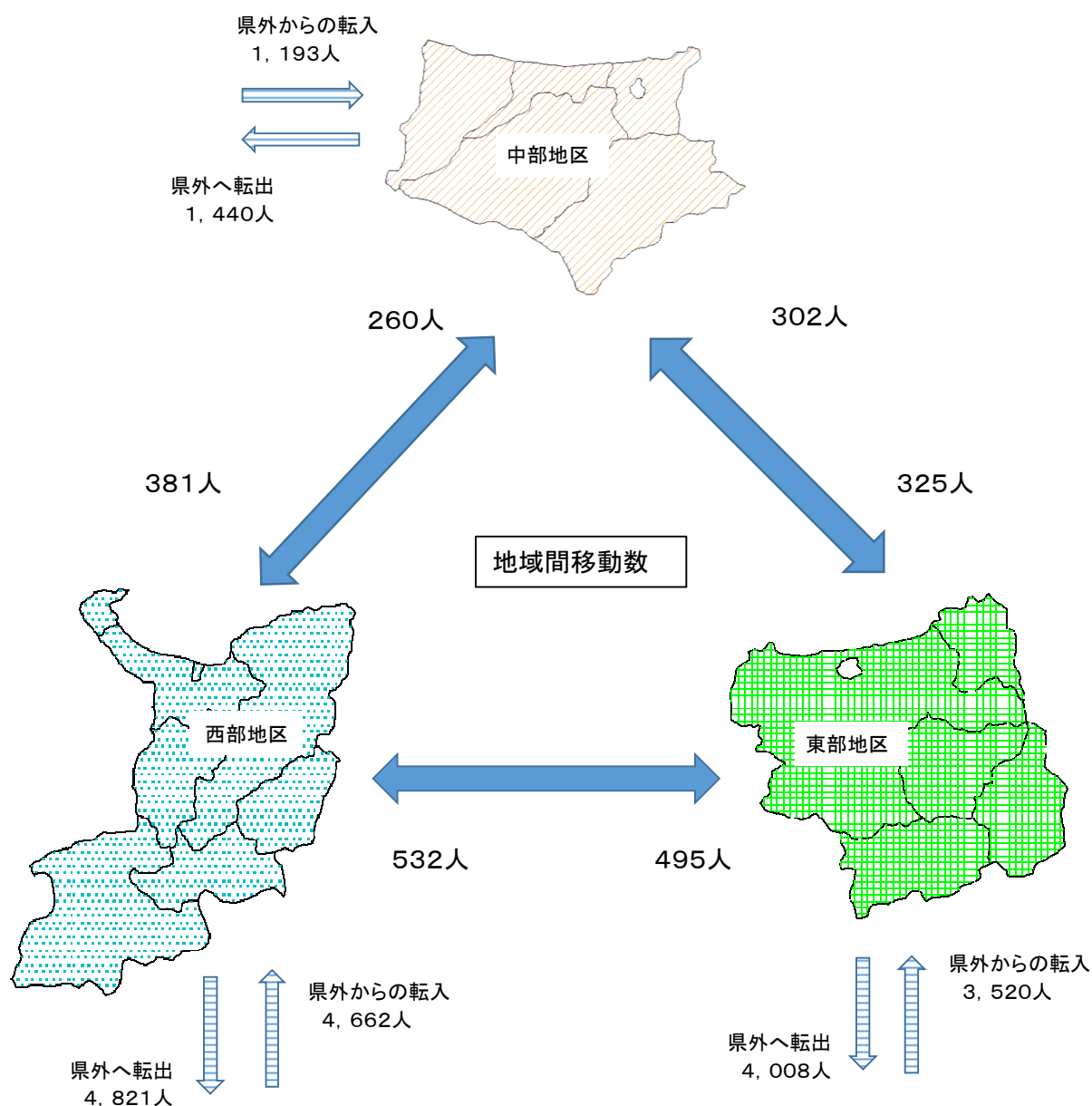
県内移動での転入超過は、米子市が348人(男性173人、女性175人)と最も多く、次いで鳥取市が125人(男性53人、女性72人)であった。

転出超過は、琴浦町が101人(男性33人、女性68人)と最も多く、次いで境港市が68人(男性16人、女性52人)であった。

また、県内移動を地域区分別にみると、東部から西部への532人(男性296人、女性236人)が最も多く、次いで西部から東部への495人(男性264人、女性231人)、中部から西部への381人(男性203人、女性178人)であった。

(図12、統計表第8表)

図12 地域別社会動態(R2年1月～R2年12月)



県外との社会動態(県全体)

県外へ転出 10,269人
 県外からの転入 9,375人

注) 地域間移動数は、地域内市町村間の移動者を含まない。

(3) 県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への713人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への530人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への713人(男性360人、女性353人)で、次いで兵庫県から鳥取市への349人(男性181人、女性168人)であった。

また、県外転出者で最も多いは、米子市から島根県への530人(男性300人、女性230人)、次いで鳥取市から大阪府への462人(男性239人、女性223人)及び鳥取市から兵庫県への462人(男性210人、女性252人)であった。

県外転入・県外転出での転入超過は、境港市 32 人（男性 61 人、女性-29 人）が最も多く、次いで若桜町 6 人（男性 1 人、女性 5 人）であった。

転出超過は、鳥取市 383 人（男性 171 人、女性 212 人）が最も多く、次いで米子市 107 人（男性 123 人、女性-16 人）であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では兵庫県から 407 人（男性 213 人、女性 194 人）が最も多く、次いで大阪府から 393 人（男性 226 人、女性 167 人）、中部では外国から 205 人（男性 71 人、女性 134 人）が最も多く、次いで岡山県から 141 人（男性 77 人、女性 64 人）、西部では島根県から 977 人（男性 495 人、女性 482 人）が最も多く、次いで岡山県から 403 人（男性 199 人、女性 204 人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ 545 人（男性 272 人、女性 273 人）が最も多く、次いで兵庫県へ 519 人（男性 234 人、女性 285 人）、中部では大阪府へ 180 人（男性 72 人、女性 108 人）が最も多く、次いで岡山県へ 137 人（男性 77 人、女性 60 人）、西部では島根県へ 747 人（男性 419 人、女性 328 人）が最も多く、次いで大阪府へ 465 人（男性 240 人、女性 225 人）であった。（表 4、統計表第 9 表）

表 4 都道府県別県外転入・転出者数(上位市町村)

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,334	713	250	191	180	1,176	530	287	138	221
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
大阪府	859	347	232	55	225	1,190	462	307	86	335
	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
岡山県	849	320	281	91	157	859	323	264	76	196
	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
外国	771	287	151	53	280	572	221	77	74	200
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
兵庫県	754	349	173	42	190	919	462	233	48	176
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
広島県	723	282	260	47	134	798	341	281	47	129
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
東京都	719	274	228	51	166	890	319	298	60	213
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市 境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他

(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者、県外転出者とも 20～24 歳が最も多い。

【鳥取市】

県外転入者は、20～24 歳が 645 人（男性 354 人、女性 291 人、県外転入者総数に占める割合 6.9%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 464 人（男性 250 人、女性 214 人、同 4.9%）であった。

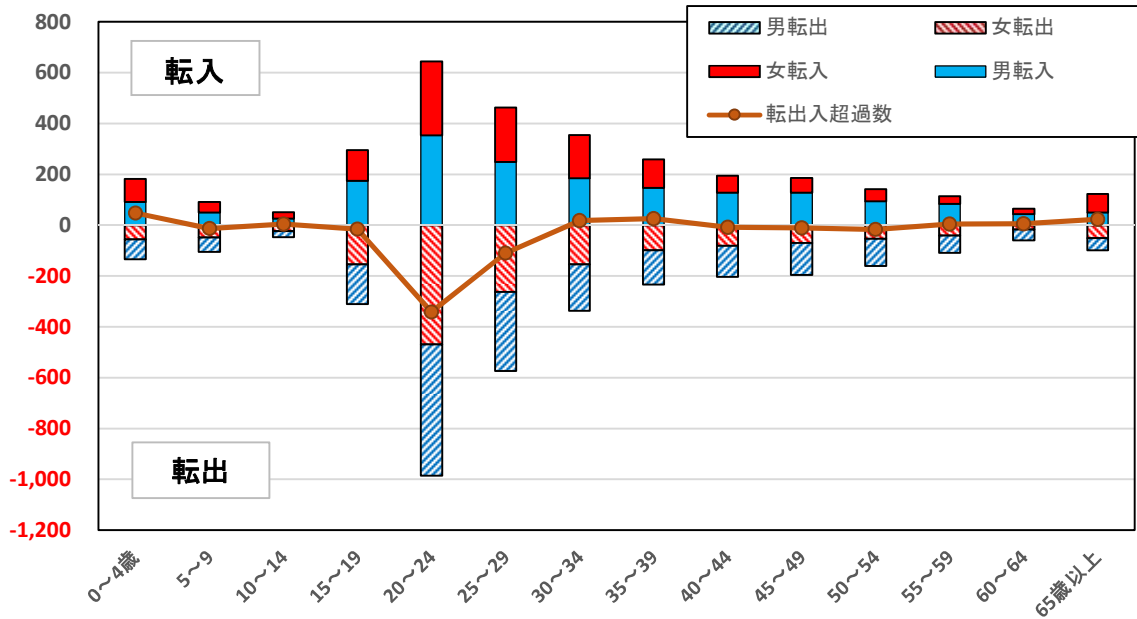
県外転出者は、20～24 歳が 986 人（男性 517 人、女性 469 人、県外転出者総数に占める割合 9.6%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 574 人（男性 311 人、女性 263 人、同 5.6%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、0～4 歳の 48 人（男性 12 人、女性 36 人）が最も多く、次いで 35～39 歳の 26 人（男性 13 人、女性 13 人）であった。

転出超過数は、20～24 歳が 341 人（男性 163 人、女性 178 人）と最も多く、次いで 25～29 歳が 110 人（男性 61 人、女性 49 人）であった。

(図 13-1、統計表第 10 表)

(人) 図13-1 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(鳥取市)



【米子市】

県外転入者は、20~24歳が650人（男性345人、女性305人、同6.9%）と最も多く、次いで25~29歳が531人（男性272人、女性259人、同5.7%）であった。

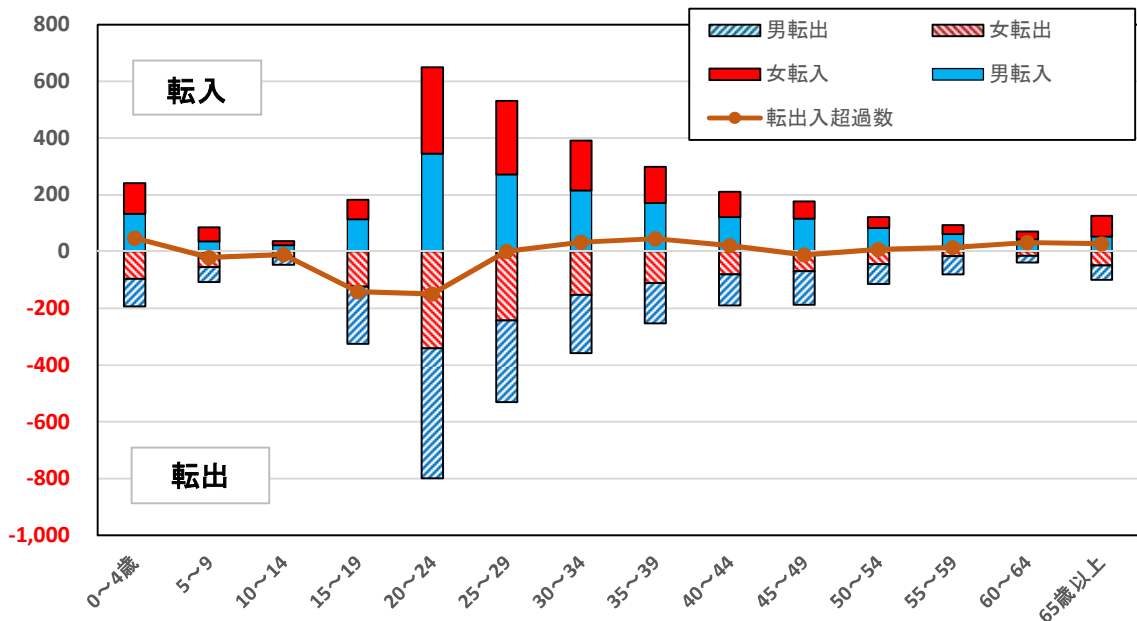
県外転出者は、20~24歳が799人（男性458人、女性341人、同7.8%）と最も多く、次いで25~29歳が530人（男性288人、女性242人、同5.2%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、0~4歳が48人（男性36人、女性12人）と最も多く、次いで35~39歳が45人（男性29人、女性16人）であった。

転出超過数は、20~24歳が149人（男性113人、女性36人）と最も多く、次いで15~19歳が142人（男性87人、女性55人）であった。

(図13-2、統計表第10表)

(人) 図13-2 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(米子市)



【倉吉市】

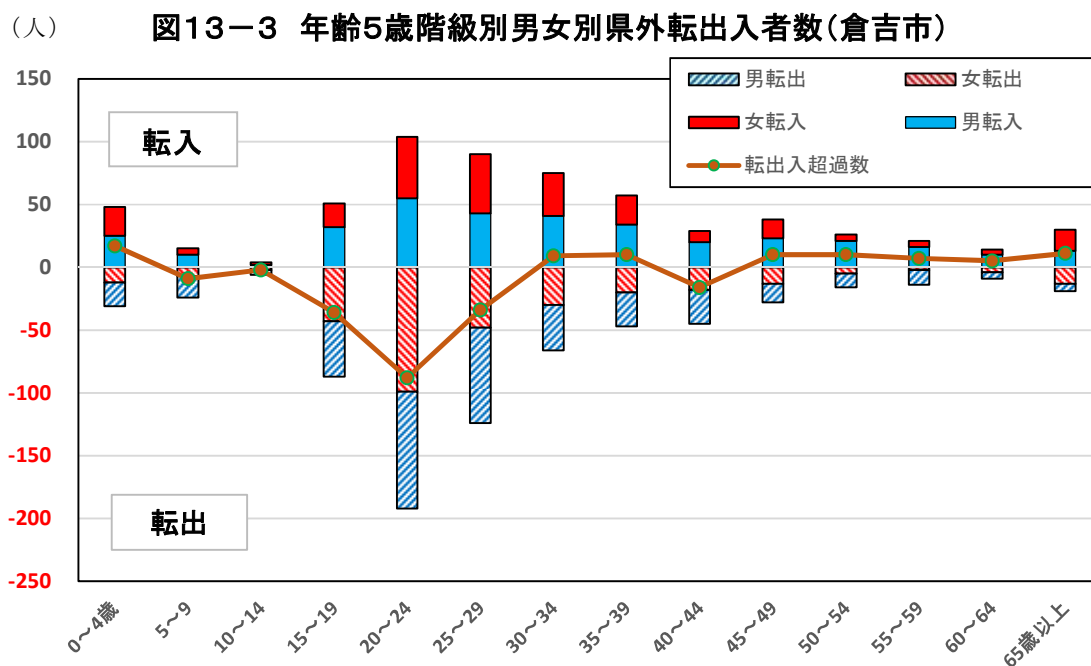
県外転入者は、20～24歳が104人（男性55人、女性49人、同1.1%）と最も多く、次いで25～29歳が90人（男性43人、女性47人、同1.0%）であった。

県外転出者は、20～24歳が192人（男性93人、女性99人、同1.9%）と最も多く、次いで25～29歳が124人（男性76人、女性48人、同1.2%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、0～4歳が17人（男性6人、女性11人）と最も多く、次いで35～39歳が10人（男性7人、女性3人）、45～49歳が10人（男性8人、女性2人）及び50～54歳が10人（男性10人）であった。

転出超過数は、20～24歳が88人（男性38人、女性50人）と最も多く、次いで15～19歳が36人（男性12人、女性24人）であった。

（図13-3、統計表第10表）



【境港市】

県外転入者は、20～24歳が199人（男性106人、女性93人、同2.1%）と最も多く、次いで25～29歳が149人（男性91人、女性58人、同1.6%）であった。

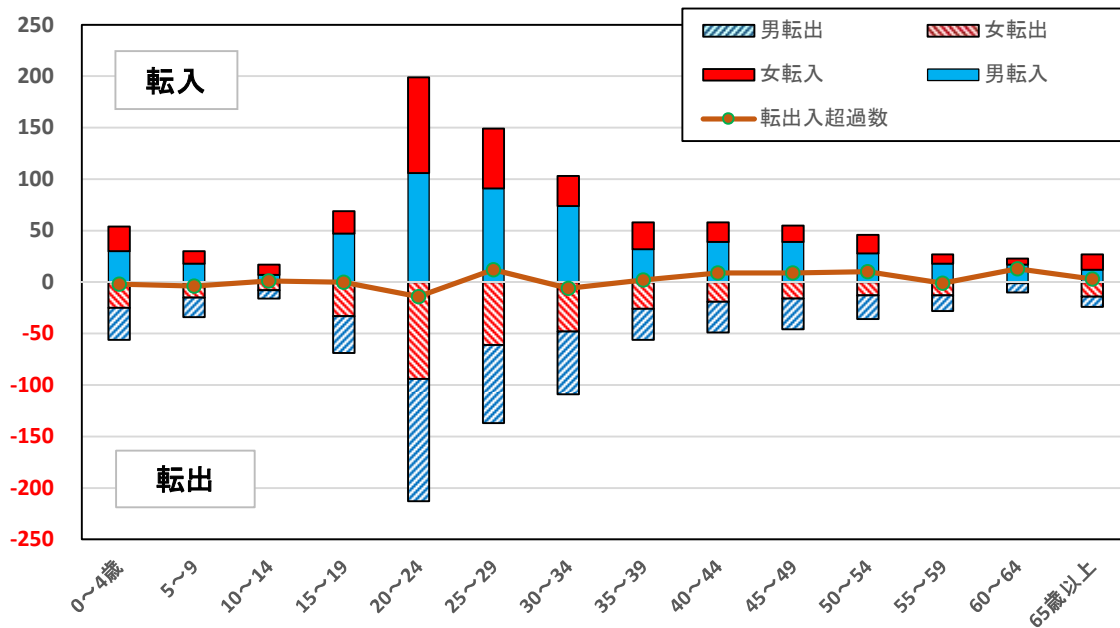
県外転出者は、20～24歳が213人（男性119人、女性94人、同2.1%）と最も多く、次いで25～29歳が137人（男性76人、女性61人、同1.3%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、60～64歳が13人（男性8人、女性5人）と最も多く、次いで25～29歳が12人（男性15人、女性-3人）であった。

転出超過数は、20～24歳が14人（男性13人、女性1人）と最も多く、次いで30～34歳が6人（男性-13人、女性19人）であった。

（図13-4、統計表第10表）

(人) 图13-4 年龄5岁阶段别男女别県外転出入者数(境港市)



<参考> 外国人の人口動態

1 自然動態

- ・出生数は12人（男性3人、女性9人）
- ・死亡数は12人（男性9人、女性3人）

表5 自然動態(外国人)

(単位:人)

月次	出生			死亡		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	12	3	9	12	9	3
1月	1	0	1	0	0	0
2月	1	0	1	1	0	1
3月	0	0	0	0	0	0
4月	1	0	1	2	1	1
5月	0	0	0	2	2	0
6月	0	0	0	1	1	0
7月	3	1	2	1	0	1
8月	2	1	1	1	1	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	1	1	0
11月	2	0	2	2	2	0
12月	1	0	1	1	1	0

2 社会動態

(1) 県内移動

- ・県内移動者数は76人（男性23人、女性53人）
- ・転入が最も多いのは米子市の16人（男性6人、女性10人）
- ・転入超過数は、湯梨浜町の10人（男性3人、女性7人）が最も多く、転出超過数は、琴浦町の20人（女性20人）が最も多い

(2) 県外転入・県外転出

- ・県外転入者数は944人（男性442人、女性502人）で、県外転出者数は918人（男性416人、女性502人）
- ・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の286人（男性152人、女性134人）で、次いで米子市の214人（男性103人、女性111人）
- ・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の301人（男性137人、女性164人）で、次いで米子市の173人（男性103人、女性70人）
- ・転入超過数で最も多いのは、米子市の41人（女性41人）で、次いで琴浦町の38人（男性4人、女性34人）（表6）

表6 市町村別社会動態(外国人)

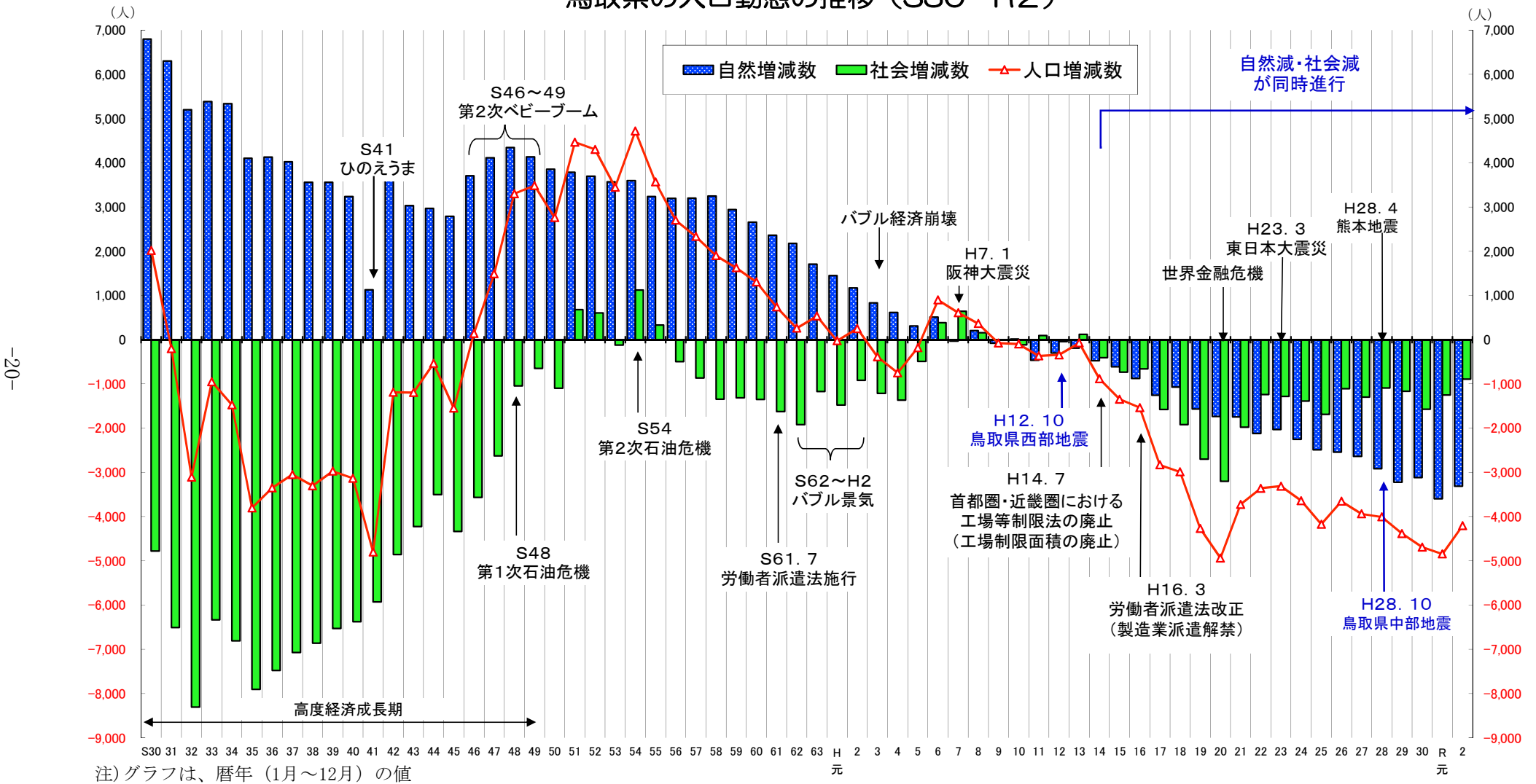
(単位:人)

	県外							県内							転入超過数	社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数		
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女			
県計	944	442	502	918	416	502	26	76	23	53	76	23	53	0	26	
東部地区	326	159	167	355	156	199	-29	15	4	11	13	3	10	2	-27	
中部地区	213	90	123	214	77	137	-1	31	9	22	37	9	28	-6	-7	
西部地区	405	193	212	349	183	166	56	30	10	20	26	11	15	4	60	
鳥取市	286	152	134	301	137	164	-15	9	3	6	11	2	9	-2	-17	
米子市	214	103	111	173	103	70	41	16	6	10	9	2	7	7	48	
倉吉市	85	57	28	82	50	32	3	11	2	9	6	0	6	5	8	
境港市	117	48	69	95	39	56	22	8	2	6	6	4	2	2	24	
岩美町	21	5	16	33	13	20	-12	1	0	1	2	1	1	-1	-13	
若桜町	5	0	5	0	0	0	5	2	0	2	0	0	0	2	7	
智頭町	9	1	8	10	1	9	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	
八頭町	5	1	4	11	5	6	-6	3	1	2	2	0	0	3	-3	
三朝町	12	6	6	25	3	22	-13	2	0	2	1	1	0	1	-12	
湯梨浜町	15	9	6	41	15	26	-26	12	5	7	2	2	0	10	-16	
琴浦町	86	12	74	48	8	40	38	0	0	0	20	0	20	-20	18	
北栄町	15	6	9	18	1	17	-3	6	2	4	8	6	2	-2	-5	
日吉津村	3	0	3	2	0	2	1	0	0	0	3	2	1	-3	-2	
大山町	40	24	16	29	25	4	11	1	0	1	3	1	2	-2	9	
南部町	18	10	8	29	7	22	-11	1	1	0	0	0	0	1	-10	
伯耆町	7	3	4	11	5	6	-4	1	0	1	2	1	1	-1	-5	
日南町	5	4	1	3	3	0	2	1	0	1	1	0	1	0	2	
日野町	0	0	0	3	0	3	-3	0	0	0	2	1	1	-2	-5	
江府町	1	1	0	4	1	3	-3	2	1	1	0	0	0	2	-1	

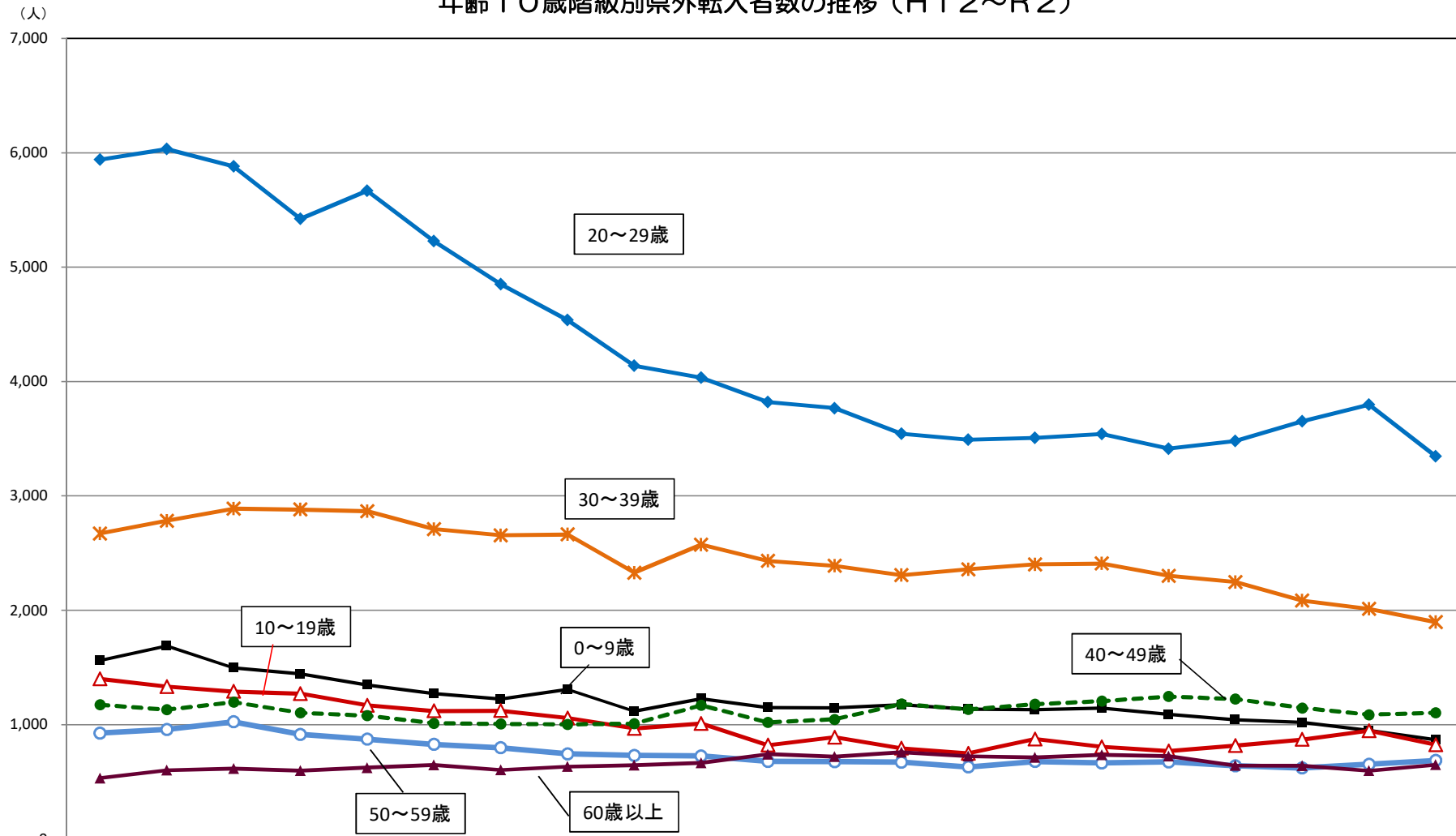
注1) 転入超過とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス（-）の場合は、転出超過を示す。

注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

鳥取県の人口動態の推移 (S30~R2)

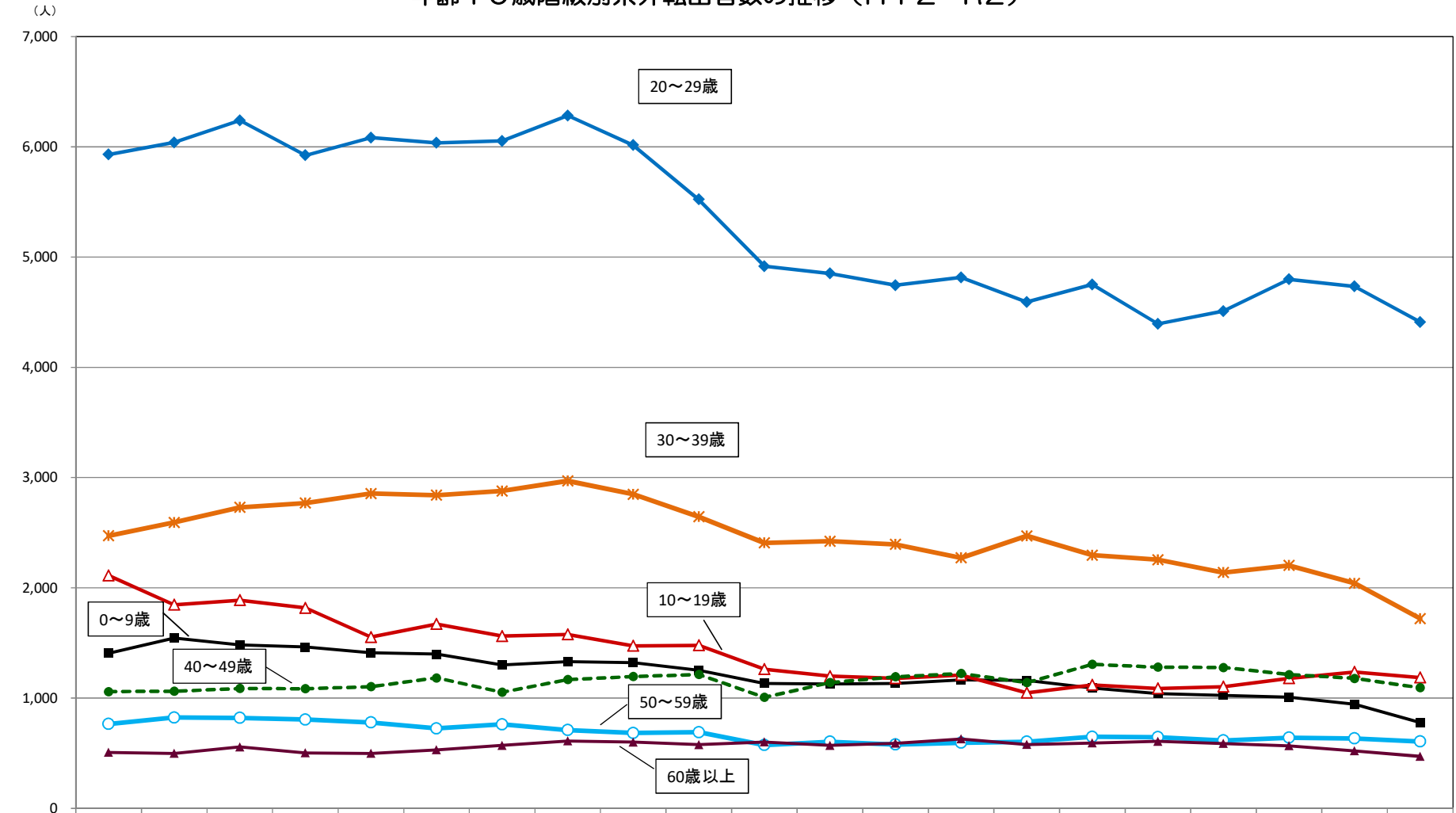


年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H12～R2）



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
0～9歳	1,562	1,689	1,497	1,444	1,346	1,271	1,225	1,308	1,118	1,226	1,150	1,146	1,174	1,136	1,131	1,144	1,091	1,042	1,020	949	868
10～19歳	1,401	1,332	1,291	1,271	1,169	1,120	1,123	1,058	967	1,010	821	890	794	750	874	806	770	818	871	947	824
20～29歳	5,941	6,032	5,882	5,423	5,667	5,228	4,851	4,537	4,139	4,034	3,820	3,767	3,544	3,491	3,507	3,541	3,413	3,480	3,652	3,797	3,346
30～39歳	2,671	2,783	2,888	2,881	2,867	2,710	2,656	2,664	2,329	2,574	2,432	2,389	2,307	2,358	2,402	2,409	2,302	2,247	2,085	2,012	1,897
40～49歳	1,174	1,131	1,198	1,104	1,079	1,012	1,006	1,003	1,009	1,169	1,021	1,046	1,181	1,134	1,179	1,206	1,246	1,224	1,146	1,087	1,103
50～59歳	927	958	1,025	915	873	828	798	745	731	727	679	677	672	630	678	665	674	640	622	654	687
60歳以上	533	603	617	598	624	647	605	634	645	665	742	720	759	725	714	736	725	643	641	597	650

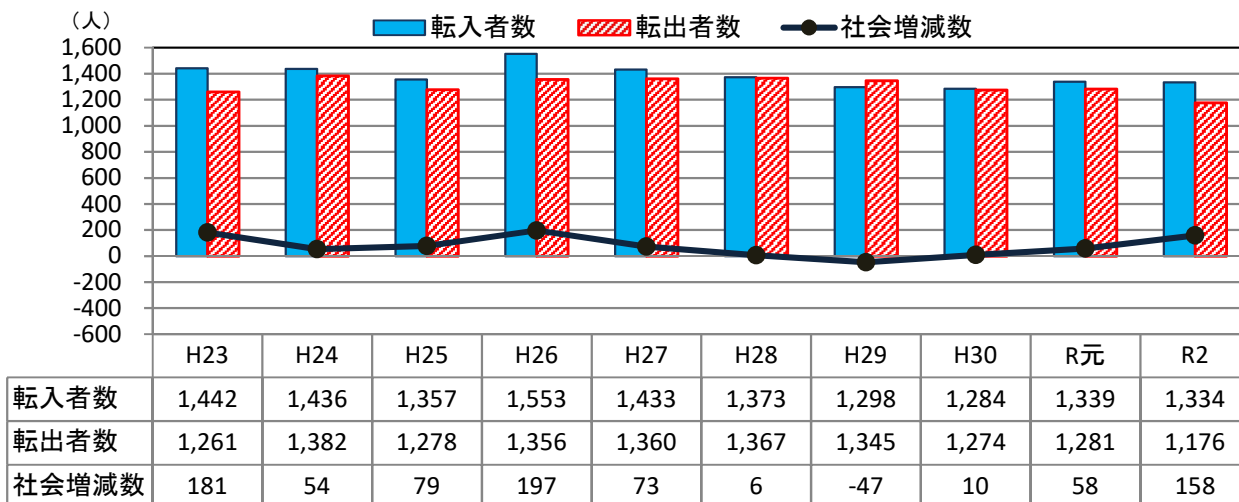
年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H12～R2）



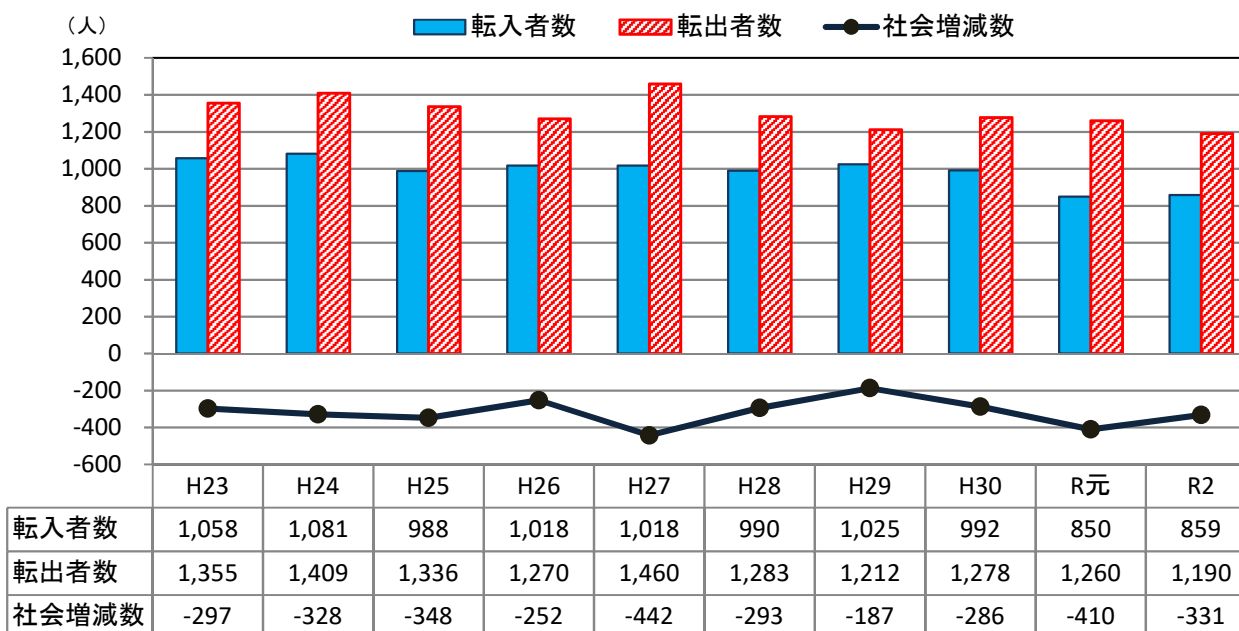
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
0～9歳	1,408	1,544	1,483	1,464	1,412	1,399	1,302	1,330	1,321	1,253	1,134	1,129	1,134	1,165	1,160	1,092	1,041	1,025	1,008	944	779
10～19歳	2,111	1,847	1,888	1,818	1,553	1,672	1,563	1,578	1,474	1,478	1,262	1,199	1,180	1,210	1,048	1,120	1,087	1,104	1,179	1,237	1,186
20～29歳	5,930	6,040	6,240	5,923	6,083	6,036	6,054	6,284	6,015	5,523	4,917	4,851	4,744	4,815	4,592	4,751	4,394	4,509	4,798	4,734	4,410
30～39歳	2,472	2,593	2,730	2,769	2,856	2,840	2,878	2,970	2,849	2,645	2,408	2,423	2,394	2,272	2,471	2,296	2,255	2,139	2,203	2,041	1,721
40～49歳	1,059	1,062	1,087	1,085	1,104	1,183	1,053	1,168	1,196	1,214	1,007	1,140	1,194	1,223	1,140	1,306	1,281	1,277	1,213	1,178	1,095
50～59歳	765	824	821	806	779	725	762	710	684	691	574	605	579	596	604	649	646	616	641	635	607
60歳以上	507	499	557	504	499	530	571	611	601	578	602	571	591	629	579	593	608	588	567	522	471

県外転出入者数の推移（令和2年移動者総数上位6都道府県）

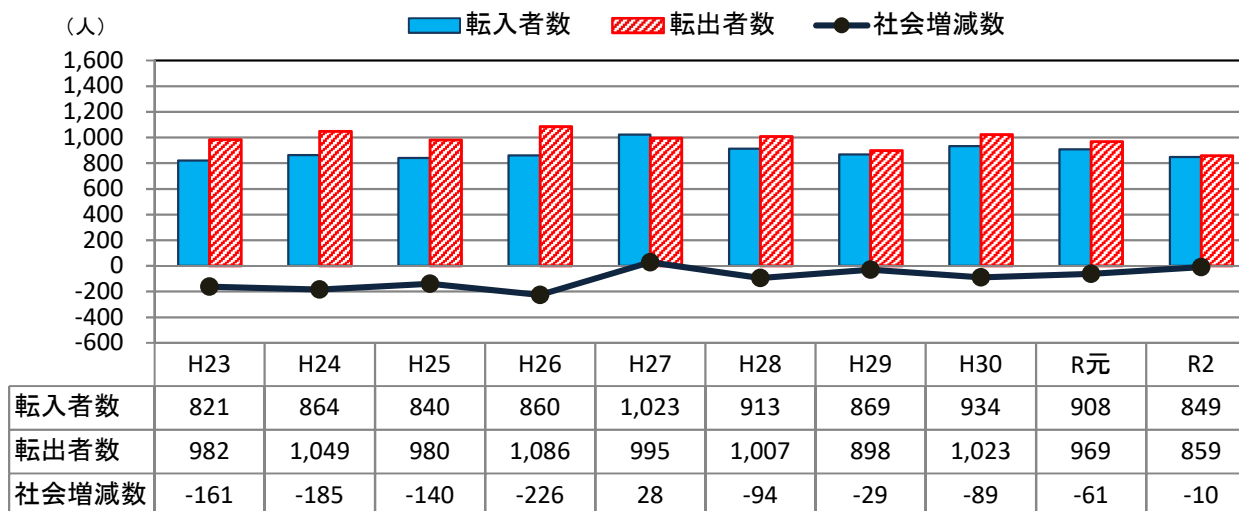
島根県からの転入、島根県への転出



大阪府からの転入、大阪府への転出

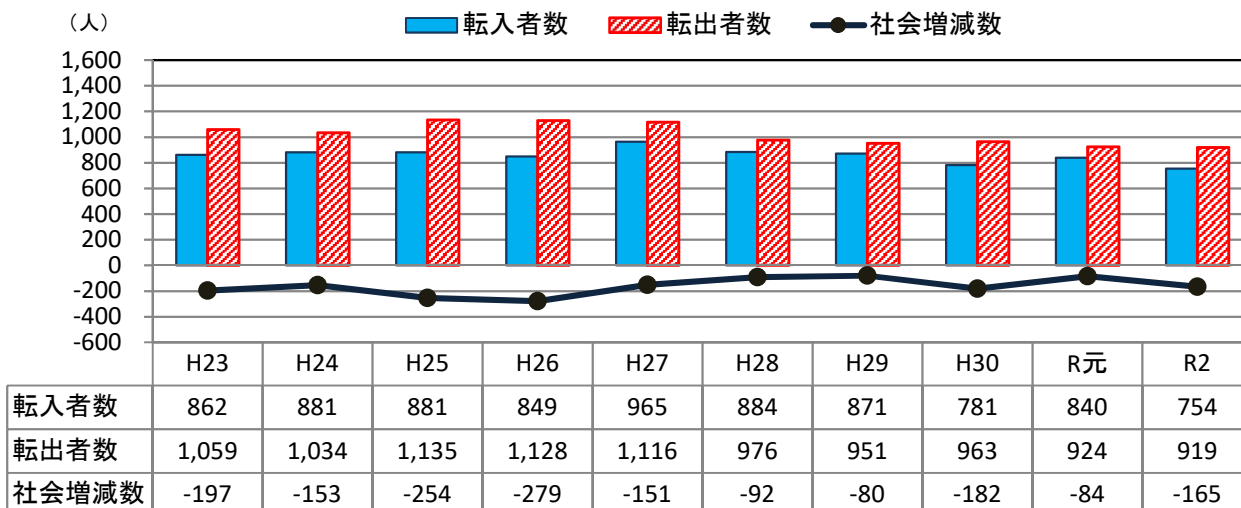


岡山県からの転入、岡山県への転出

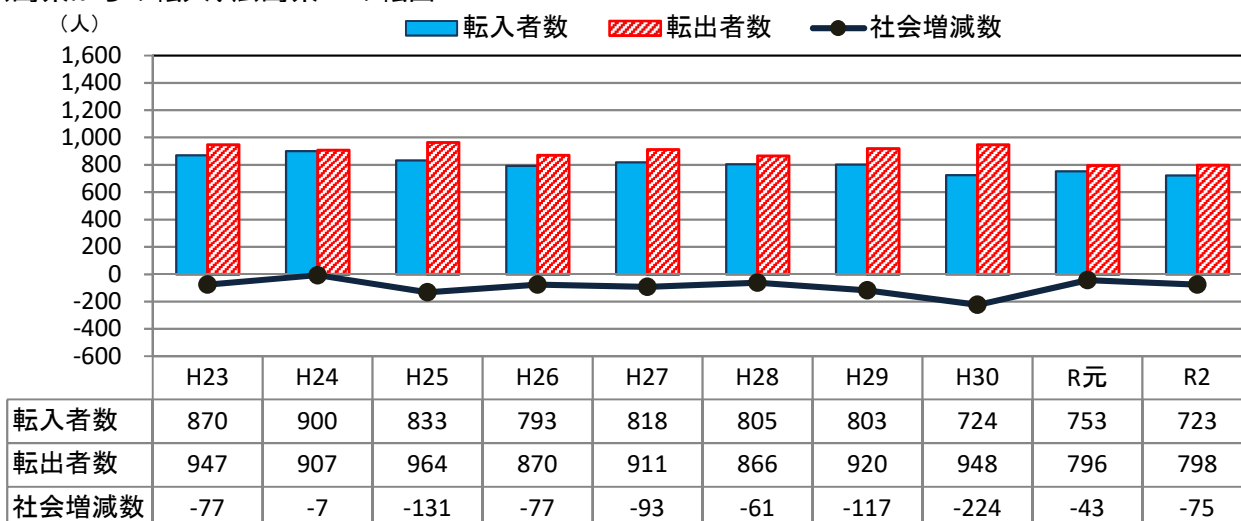


注) 移動者総数＝転入者数＋転出者数

兵庫県からの転入、兵庫県への転出



広島県からの転入、広島県への転出



東京都からの転入、東京都への転出

